

今年4月から2階病棟配属になった二本柳こずえです。大湊高校を卒業し、八戸看護専門学校を卒業して、むつ総合病院に就職しました。2階は主に外科の患者さんが入院しています。外科病棟で働きたいと思ったきっかけは、学生の頃初めての実習先が外科病棟だったからです。そのとき、受け持ち患者さんの回復していく姿や患者さんとの関わりの中で、急性期看護に興味を持ちました。実際に働いて2ヶ月程経ちましたが、毎日あっという間に時間が過ぎます。どんなに業務が重なっていてもプリセプター、病棟のスタッフの方々は親身になってわからないことを教えてくれます。本当にいつもありがとうございます。今の私は看護技術も知識も不足していて沢山迷惑をかけてばかりですが、一日も早く業務を覚え、感謝の気持ちを忘れず、先輩方の力になれるように頑張ります。

私が看護をする上でいつも大切にしていることは、目の前にいる患者さんがもし自分の家族や大切な人だったら、という事です。相手の立場になってその時の状況を把握し、必要なケアを提供していくことです。これから沢山学び根柢を持って看護していきたいです。

最後に、私が病棟勤務初日に一番嬉しかったことを伝えたいと思います。それは、プリセプターの方から頂いたものです。「これ、あげるね。わからなくなったらこれに書いてあるから見てみてね。」と言い、丁寧に書かれたメモ帳を頂きました。その日から毎日大切に使っています。これは私にとって大事な宝物です。

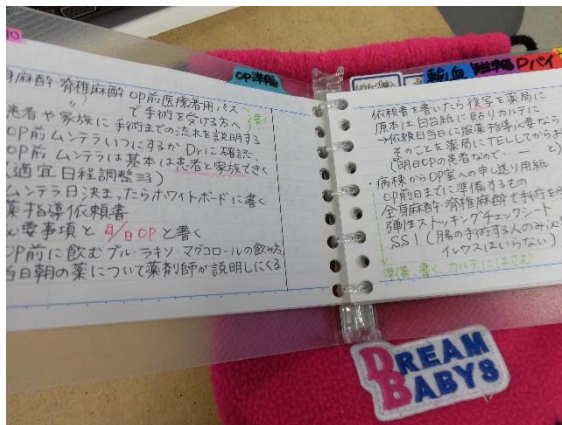
これから沢山の皆様と関わっていき、出会いを大切にしていきたいながら日々成長していきたいです。

2階病棟で、毎日元気に笑顔で働いているので皆さんよろしくお祈りします。

プリセプター
の濱田さん

教育担当の
古舘さん

☆宝物のメモ帳☆



閲覧ありがとうございました。